

第3回 都心部における地下歩行ネットワーク検討委員会 書面会議 概要

1 実施期間：令和2年4月15日～5月20日

2 実施形式：書面会議

3 出席者：大沢 昌玄 委員長
森 朋子 副委員長
藤井 将博 委員
齋藤 友子 委員
内川 亜紀 委員
服部 彰治 委員
新保 忠幸 委員
高橋 正志 委員
中根 享 委員

4 議題

都心部における地下歩行ネットワーク形成方針(案)について

5 意見と回答の要旨

・重視すべき視点の回遊・快適性の向上においては、「トラフィック機能、ネットワーク機能」、にぎわいの創出においては「滞留機能」が、ネットワーク形成に重要なキーワードと考えているため、追加しても良いのではないかと。

⇒ネットワーク形成において、重要なキーワードとして追加することを検討します。

・課題の一つは、各路線の推定地下歩行者数より、公共事業として整備することが難しい点だと思う。

⇒推定地下歩行者が見込めないこと等により、公共事業として成り立つことが困難であることが課題ですので、わかりやすい記載方法を検討します。

・地下歩行ネットワーク形成による効果の一つとして、災害時の一時避難場所としての効果があると思う。北海道胆振東部地震時に、チ・カ・ホがその効果を発揮したと思う。

⇒北海道胆振東部地震の際のチ・カ・ホが果たした効果について、記載をするようにします。一方で、チ・カ・ホは通路機能に加えて両側に広場空間が設けているため、その活用が可能でしたが、すべての地下施設が同様の対応ができるとは限りま

せんで、誤解が生じないような記載を検討します。

- ・札幌における地下歩行ネットワークは、冬期におけるバリアフリーの実現が大きなメリットと考える。他の都市に比べて、特に札幌における地下歩行ネットワークの重要性を記載した方が良いと思う。

⇒札幌における地下歩行ネットワークは他都市に比べて、季節的な要素があることが見えるように工夫します。

- ・課題は取組方針の中でクローズアップし、解決方法を示す方が良いと思う。

⇒課題の項目や、解決方法を含めて再度内容を検討します。

以上